

フランスの文学と文化

ジャン＝ジャック・ルソー、 その 生涯と『告白』

講師：小出石敦子

早稲田大学講師

6月17日 月 16:20～17:50

会場：語学センター LL403A

概要：

21世紀の現在、インターネット特にSNSの普及により、誰もが自分を見せ語ることが日常化し著名人の自叙伝出版も当たり前となっている。では自分語りの始まりはいつなのか？ 250年前のフランスで、誰も書いたことがなかった自伝を初めて世に出したのがジャン＝ジャック・ルソーであった。自伝『告白』は「近代的自伝の最初の作品」と位置づけられ、フランス内外における自伝的文学の伝統に大きな流れを作り、島崎藤村らによる受容を通して日本にも少なからぬ影響を与えたと考えられている。本講義では、この作品から特に興味深い（誕生、性、罪の告白等）エピソードを取りあげ、自分を語ることの意味、興味と問題点について考えていきたい。

* 本講演は「フランスの文学と文化」(担当：国際学部・大場静枝)の授業の一環で開催します。受講者以外の方の聴講も歓迎します。